

過疎地域の持続的発展には、  
移住定住対策事業が必要だ



議員 幸 晃 協 門 会 生 蒼

市長 子育て世代へのしっかりした支援を行う

令和4年度当初予算  
は、財政圧縮できた  
か

**質問** 令和4年度は、14億円  
財源不足が生じるので、4億  
円圧縮したいと一般質問で答  
えていたが、予算内容を見る  
と圧縮されていない。理由は  
何か。

**答弁** 既存事業、公営企業等  
への操出し削減、ふるさと仙  
北応援基金等の繰り入れで解  
消する用途を立てていたが、  
単独補助金や公用車リース料  
などの事業に大きくメスを入  
れることが出来なかった。燃  
料費、光熱水費の高騰、委託  
事業増などによる物件費増と  
国庫補助金、地方債などの特  
定財源の減により、物件費に  
係る一般財源が増となった。

有効な施策実行のた  
めの財源確保は

**質問** 具体的な財源確保の考  
えを伺う。

**答弁** 歳入では、国や県補助  
金の活用、補助メニューに沿  
うような事業をしていく。現  
状では、ふるさと納税寄付金  
が非常に有効な財源である。  
歳出では、一般財源で実施す  
る単独事業にメスを入れる必

要がある。人件費の削減、投  
資的経費の事業量、執行ペー  
ス抑制により、市債発行額が  
公債発行償還元金額を上回ら  
ないようにする。

過疎地域持続的発展  
計画の移住定住対策

**質問** 過疎地域の持続的発展  
には移住定住対策が必要だ。  
所見を伺う。

**答弁** 急激な人口減少と少子  
高齢化による生産年齢人口の  
減少から、基幹産業の労働力  
が不足している。雇用機会が  
減少し、若者の市外流出が進  
み、更なる少子高齢化につな  
がる悪循環が続いている。移  
住定住対策は、その流れに歯  
止めをかけるための重要な施  
策と考えている。具体策とし  
て、子育て支援、女性の活躍  
の場の提供、他地域からの移  
住に対する寛容性など、意識  
の醸成を図る必要がある。

**質問** 令和2年、令和3年度  
の移住定住対策執行額はいく  
らか。また、成果について伺  
う。

**答弁** 令和2年度は、人件  
費を除き2,688万3,642円で、定住促進奨励金  
が11件、新婚世帯家賃助成事



■間もなく完成。夢いっぱいのマイホーム

業費補助金が57件、次世代定  
住支援事業補助金が23件うち  
4件が市外からの移住になっ  
ている。令和3年度は、途中  
ではあるが人件費を除いて  
1,450万9,828円で、  
定住促進奨励金が8件、新婚  
生活支援事業補助金が4件、  
若者マイホーム取得助成金が  
18件となっている。

**質問** 人口減少に歯止めをか  
けるために、年間どれくらい  
の財源が必要と考えている  
か。

**答弁** 自問自答している状態  
だ。一時的な補助金の交付だ

けでなく、暮らし易いまち  
づくりから市民の幸福度向  
上につなげることが必要だ  
と考える。限られた財源の中  
で、社会ニーズに合わせ、最  
小の経費で最大の効果を上  
げるように努める。

**質問** 市が認識している山  
間農業地域の集落数を伺う。

**答弁** 林野率80%以上かつ  
耕地率10%未満の山間農業  
地域は、旧白岩村19集落、旧  
田沢村11集落、旧松木内村33  
集落、合わせて63集落であ  
る。

(平岡裕子記)



蒼生会 真崎 寿浩 議員

地域住民が心を一つに、しっかりと  
満足感が得られる地域と観光づくりを

市長

観光資源豊富な仙北市の付加価値を高め、  
市民の幸せに繋がる観光地づくりを目指す

仙北市の観光について

**質問** 令和4年度施政方針で、「新しい観光振興計画の策定に取り組み」とあるが、アフターコロナを見据えての仙北市観光は「五感」全てを刺激させる充実した形で、地域の魅力をさらにアピールする必要があると考えるが、見解を伺う。

**答弁** 仙北市総合計画や、仙北市総合戦略では、質の高い観光地形成を目指して、旅行者の満足度向上を図るとしている。更に、アフターコロナを見据えた新しい観点での観光振興計画の策定により、旅行者の「五感」を刺激するような、新しい旅の形を生み出したいと思っている。それによって地域経済が潤い、地域を誇りに思えることが、市民の幸せに繋がるものと期待し、観光振興に取り組みたい。

**質問** 地域住民に対してはもちろん



■市民の幸福度向上に繋げたい仙北市の豊富な観光資源

だが、初めて通る通行者（車）に対して優しく安全な道路なのか、案内看板等の設置状況と合わせて、現状に対する認識と考えを伺う。

**答弁** 仙北市には3本の国道に加え、県道や市道が数多くあり、主要な交差点や大きな道路などには大型の観光看板などを設置し、市内の観光地へ誘導・案内をしているが、デザインや表記方法が統一されていないため、観光客や市民にとって分かりやすい案内ばかり

ではないと感じる。カーナビやスマホの普及、ICTの更なる進化による道案内の変化に対応した看板など、在り方を検討していく必要があると考える。

また、道路整備については、計画に基づいて順次進めており、関係する国や県とも連携しながら、利用者にやさしく安全な道路の整備を目指していく。

**質問** 観光施設等の食材調達に関し、地元との結びつきをさらに強め、仙北市産の米を主軸とした食材の更なる消費拡大を目指してはどうか、見解を伺う。

**答弁** 観光施設は、お客の増減や天候不順による不作などの影響を受けても、調達量をコントロールすることも必要である。また、コスト管理などから、地元産だけでは実業者との取引があることも実情である。ただ、観光施設の経営にはコスト意識も大事だが、付加価値をつけ、地域の魅力をより高く評価していただき、経済に結び付けることも重要であることから、現状の市内宿泊施設等での地産地消率を把握し、それを踏まえて、供給者と需要者のコミュニ

ニケーションの場を設け、地産地消率の向上を目指したい。

今後の秋田内陸縦貫  
鉄道をどうしていく  
のか

**質問** 内陸縦貫鉄道は地元密着と観光を併せた形での運営形態であるが、現状は厳しい状況にある。内陸線を持続していくために、観光に特化した線路と道路の両方を走るDMVやSLの運行についての見解を伺う。

**答弁** 内陸線を存続させるためには、新しい価値観が必要であり、仙北市での付加価値も考えていく必要がある。また、DMVやSLに関してはいずれも導入までの莫大な財源や設備面での障害が多々あり、過去に検討したが断念した。現在お座敷列車の全面リニューアルにあたり、観光に特化した誘客は、内陸線存続のキーポイントになると考えており、観光資源としてどのように展開するか、アイデアを共有していく。

(澤田雅亮記)

用語  
解説

DMV (デュアル・モード・ビークル)  
…線路と道路の両方を走行できるマイクロバスを改良した鉄道車両

## 道の駅構想の動きが見えていない

市民クラブ 伊藤 邦彦 議員



### 市長 課題も多いが可能性を模索する

#### 道の駅構想について

**質問** 市民から出された道の駅開設の請願書を議会では全会一致で採択としたが、その動きが全く見えてこないが。

**答弁** 道の駅それに付帯する農産物直売施設は、観光振興や交流人口の増加等、経済好循環の可能性はあるが、現実には多くの道の駅と設置者である自治体は、赤字経営に苦しんでいると伺う。設置に向けては様々な課題があり、年間を通して提供できる野菜や加工品等の品ぞろえ、設置場所、運営者が誰なのか等である。道の駅設置が、市の新たな財政負担となることは避けなければならないが、今後も可能性を模索していく。

**質問** 赤字の施設や財政的なこともあるが、市民所得の低い仙北市においては、出品者及び、そこに勤める従業員の所得向上にも繋がると思う

がどうか。

**答弁** 最近の道の駅といえは、農産物の直売所という位置付けが多い。地元の農家さんからの協力を得て、常に農作物を販売できる環境を整えられるか、態勢構築ができるのか、地元農家とコミュニケーションをとりながら、可能性を模索する。

#### 落合球場の改修について

**質問** 生保内公園野球場の改



■動きが見えない道の駅構想

修が終われば取りかかるとの当局の答弁であった。あれから8年経ったが、飲料水の改善だけで他は何も変わっていない。財政が逼迫しているから無理という事か。

**答弁** 現在の市財政の逼迫状況から、事業実施は困難と考えるが、改修に使用可能な補助金や助成金、クラウドファンディング、球場の命名権スポンサー等、引き続き財源確保のため様々な可能性を検討する。

**質問** 今後、改修に協力するという事業者も出てくるかもしれない。そうしたことも踏まえ財源を見つけ出す検討をしてはどうか。

**答弁** 財源がある程度確保できれば、実現の可能性が出てくる。市議会議員の皆様も積極的に動いていただき、国政の先生方からも様々な情報をいただいている。球場の改修に使える財源がどの程度確保できるのか、しっかりと検討したい。

#### 田沢湖・角館観光協会について

**質問** 仙北市は旧3町村が対等、共存共栄の合併理念のも

とに、合併が成立した。仙北市はひとつを目指し、それぞれの団体が協議を重ね今に至っている。しかし、観光協会だけは、田沢湖・角館観光協会と称しており、市民の税金を補助金として、多額に助成を受けている団体でもある。幸福度日本一を目指すとする市長の理念、また、市民の融和と協調を計る上で、他団体同様に、仙北市を「冠」とし、仙北市観光協会とするべき指導、助言を願いたい。

**答弁** 何故「仙北市」を冠としないのかとのことだが、組織の名称については当時の各団体の方々が議論されていることから、それを尊重すべきものと考ええる。決定に当たっては、「田沢湖・角館」の名称が、他の観光地に対抗できるブランド力があるとのこと、決定した経緯があると聞いている。いずれにしても名称変更といったご意見があるとすれば、観光協会内で議論されるべきものと考ええる。

(武藤義彦記)



公明党 熊谷一夫 議員

角館総合病院での  
オンライン面会サービスの早期開設を！

市長 令和3年度中に実施したい

新型コロナウイルスから市民の命と健康を守る取り組みを

**質問** 3回目接種のワクチン供給状況及び接種体制と今後の予定について伺う。

**答弁** 仙北市の3回目ワクチン接種の対象者は2万817人でファイザー製とモデルナ製のワクチンを確保可能である。一般市民は集団接種で行い、65歳以上は4月中に終了し、6月中には全市民が終了する予定である。

**質問** 仙北市内のコロナ感染者は何か。また、発熱外来診療による通常診療への影響はないのか。

**答弁** 県の保健所から仙北市の感染者数の個別情報はない。角館総合病院は、コロナ感染者が入院した場合は、看護師が不足するため、一般病棟の入院が一部制限される。田沢湖病院は、通常診療への影響はない。

**質問** 仙北市のPCR検査体制について伺う。

**答弁** 角館総合病院は、行政検査の検体採取を行っている。田沢湖病院は、外部に検査を委託している。両病院とも、発熱外来では、短時間でも

判定できる抗原検査を行っている。

**質問** 仙北市での5歳から11歳のワクチン接種の対応はどうするのか。

**答弁** 保護者に対し、メリット、デメリットをしっかりと伝えずるとともに、相談窓口を設置して対応したい。

**質問** 新型コロナウイルス治療の高額な飲み薬について、公明党が提言する、国が一定量を買って、国民に安価で提供することについての市の見解を伺う。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症は、指定感染症であり、現在のところ自己負担はない。国での薬価の取り扱いを静観したい。

角館総合病院での「オンライン面会サービス」開設について

**質問** コロナ禍で、入院中の患者が家族と面会できない病院が殆どであるが、能代厚生医療センターでの、無料通話アプリLINEを使っている、家族との面会が非常に好評だった。角館総合病院への早期開設を提案する。

**答弁** 角館総合病院も面会は原則禁止である。

しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあり、ウィズコロナに対応したサービスも必要であると考え、今年度中にWi-Fi環境を整備し、オンライン面会サービスを実施したい。

デジタル社会を目指して

**質問** コロナ禍で見えたものの一つに日本のデジタル化の遅れがある。課題である高齢者へのデジタル化支援とデジタル機器の使い方支援等について推進するべきではないか。

**答弁** 昨年12月の高齢者向けスマホ講座に26人の参加があった。高齢者のスマホ活用の裾野を広げることが、地域のデジタル化の推進に繋がるため、今後も地域運営体などと連携したスマホ講座を開催し、気軽にスマホを使いこなせる高齢者を増やしていきたい。



■寝たきり患者用のオンライン面会用のタブレット

**質問** デジタル化を加速するには、マイナンバーカードの活用が必須であるが、仙北市のマイナンバーカードの取得率の現状と今後の取得率向上の取り組みについて伺う。

**答弁** マイナンバーカード使用によるコンビニでの住民票等の発行や、市民係での月2回の19時までの予約交付などにより、令和4年1月末で32・3%の取得率である。今後も様々な団体から、未取得者に申込書が送付されるので、取得窓口の混雑時は、交付専任の職員を配置し、取得率向上に取り組むたい。

(青柳宗五郎記)



澤田雅亮 議員

子育て世代のニーズが高い  
病児病後児保育の実現を

市長 体調不良児対応型の早期実現に向けて取り組む

私の独自アンケート調査による子育て世代の女性支援について

**質問** 子育て世代の働く女性にとつて、子どもの病気は最大の難関であり、調査した70%の女性が病児病後児保育の必要性を訴えている。市として、実現する覚悟はあるのか。また、連携が必要な角館総合病院の小児科医の常駐は進んでいるのか伺う。

**答弁** 角館こども園の医務室に専門職員を配置して対応する。体調不良児対応型の早期実現に向けて、はなさき仙北と協議を進める。小児科医は、昨年10月1日から週4日で1名の医師が常駐している。

**質問** 子育て世代の女性の約87%が、やりたいことにチャレンジできていない。市として、女性がチャレンジしやすい環境の整備や、より良い男女共同参画について、どのように取り組んでいくのか伺う。

**答弁** 子育て世代のご意見をいただき、子育て支援施設や子育て経済支援をさらに充実させ、子育てと就労の両立による、チャレンジしやすい環

境づくりを目指して、令和4年度を初年度とする「第4次男女共同参画計画」の策定に取り組んでいる。

**質問** 子どもと遊びに行く場所は87%が市外であり、仙北市に子育てに関する施設が欲しいとの声が90%以上もある。現在、落合野球場の整備を検討しているが、野球場周辺を総合的に整備し、市民の憩いの場所となるような抜本的な街づくりの再編が必要と考えるがどうか。

**答弁** 落合野球場周辺は余剰の土地がない。遊具担当部署検討会は、遊具のある21箇所の公園のうち、生保内公園、角館駅東公園、湯前山公園の遊具を整備することとした。市民が足を運びたくなる公園にしたい。

**質問** 先日、市が主催の地域公共交通に関する座談会に参

これからの仙北市における公共交通の在り方について

加した。地域にNPO法人を立ち上げて、自家用有償旅客運送を紹介していたが、将来的な自動運転やデジタル化の進化を考えると市が主体の運営が望ましいのではないか。



令和3年度に生保内公園に整備された複合遊具

うえ実証していきたい。自動運転については、技術の確立に時間がかかる状態だが、実用化に向け今後も検討したい。

仙北市は、頑張る人が報われる職場環境にあるか

**質問** 人事院発表の、令和2年度の公務員の意識調査結果をみると、人員配置、評価制度、異動、報酬・処遇に対して不満を抱いており、業務に対するモチベーション等の低下が指摘されている。仙北市における人事評価制度や今後の組織づくりについて伺う。

**答弁** 職員の適正な人事評価と人材育成に向けて、人事改革を断行する。令和4年度に、人事システムと職員育成及び登用システムのバージョンアップに取り組むとともに、登用、管理すべてにおいて、あるべき体制づくりを現場の職員と対話しながら進め、職員の仕事に対するモチベーション向上にも繋げていく。

(高橋輝彦記)

# 幸福度全国ナンバーワンの 仙北市をつくる基本的な考えを問う



市民クラブ 稲田 修 議員

市長

幸福度は性別や年代によっても各々違いがあり、満足度とも違い、常に自分の心が決めるものと思っている



子ども・母親が安心して暮らせる幸福度の高いまちづくりを目指す



花も片付けていただくことを周知する柏山墓地公園

## 幸福度をあげる方策は何か

**質問** 田口市長の選挙公約や発信している情報を見ると6項目の施政方針や多くの課題を取り上げているが、幸福度をあげる為に何が足りないと感じているか。

**答弁** 他人と比較し、良い車に乗っているとか、収入が多いとかは満足度であり、私が言っている幸福度は自分たちがここで生まれ育って、家族

や大切な人たちと生活していくこと、恵まれた自然、温泉、山菜や美味しい米があることが当たり前ではなく、本当は恵まれているということをもう一度考えていただきたい。だからこそこの幸福度を追求して行きたい。幸福度が高い地域からは人は去っていかないと思っている。

**質問** 市長の答弁は答弁書を読んでいる、本当の気持ちが含まれているのか、こちらに影響がない。

**答弁** 内容等、十分担当と打ち合わせの上で答弁している。どういう思いで答弁しているのか伝わっていないのであれば非常に残念である。100年続く仙北市をめざす。市民の皆さんに希望を持っていただかなければ流出は止まらない。内容はしっかり吟味して、自分も納得し答弁している。市民が何に不満を抱き、何に幸福度を感じているのか、しっかり市民の意識調査を継続させ、市政を進

めていく。

## シルバーセンターへの業務委託内容と実施状況は。

**質問** シルバー人材センターへ委託している墓地公園で管理が十分になされているのか。この頃お墓に供えられた花の散乱が見受けられるが。

**答弁** お墓に供えられたものまでの清掃、片づけまでは契約の業務には含まれていない。これまで担当者の善意で行われたこともあったが、他人の物を破損させる等の恐れがあり公園の管理であり、お供え物等の片づけはその方が責任を持って片づけることを周知していきたい。

**質問** 監査委員の意見に、前例踏襲、担当職員の認知不足、チェック体制に不十分等の意見があった。マンネリ化を招いてはいないか。

**答弁** 職員のマンネリ化という話であるが、就任して4カ月で市の状況を確認しているところである。もし、そのような状況が見られたら、直接私に教えていただきたい。

(荒木田俊一記)

## 分庁舎方式を今後も続けていくのか

蒼生会 青柳 宗五郎 議員

市長

このまま市政を運営せざるを得ない状況である

### 庁舎方式を今後も続けていくのか

**質問** 合併時の統合庁舎問題については、議会としても特別委員会を作り、いろいろ議論し、市民の皆様の考えも重々承知している。市長の約束である「幸福度ナンバーワン」にする為には、いかにして経費を節約し、お金を生み出すか。この事が一番大切と考えている。そこで、分庁舎方式を今後も続けていくのか伺う。

**答弁** 分庁舎方式は非効率と感じているが、ここに行きついた過程も聞いている。分庁舎方式がいいとは考えていないが、現状ではこのまま市政を運営せざるを得ない状況である。

**質問** 各庁舎の建築年数について伺う。

**答弁** 田沢湖庁舎は、昭和47年度建築、経過年数は昨年度末で49年となる。田沢湖第二庁舎は、昭和53年建築、43年経過。角館庁舎は、令和2年建築、1年経過。旧中町庁舎

は、昭和46年建築、50年経過で昨年度用途廃止。旧西勝楽庁舎は、今年度解体した。西木庁舎・第二庁舎ともに、昭和50年建築、46年経過している。

**質問** 庁舎維持管理費はいくらか。

**答弁** 全庁舎合計、令和3年度予算現計額で、6,348万5,000円である。令和2年決算額が、5,308万6,000円である。西木庁舎改修工事費1億4,595万1,000円は除いて

ている。  
**質問** 3庁舎の維持管理費の詳細を伺いたい。

**答弁** (財政課長) 令和3年度の予算ベースで、田沢湖庁舎、約2,100万円。角館庁舎、約3,100万円。西木庁舎が第二庁舎と合わせて、1,200万円弱位である。内訳は、燃料費・光熱費等の需用費、火災保険料等の役務費、保守点検等の委託料。下水道使用料等と備品購入費や原材料費などである。

(熊谷 一夫記)



■まだまだ分庁舎方式が続く3庁舎



養生会 八柳良太郎 議員

地域の歴史を後世に、肌で感じる伝承を！

教育長 関係団体と協議し、しっかり取り組む

ふるさとの豊かな自然、歴史的な遺産や偉人、文化財を活かした学習について

**質問** 「岩瀬川原古戦場跡」の歴史を市民に伝承するとともに、次世代の子どもたちへの学習にも生かし、また、武家屋敷を訪れた観光客へのPRもしていくべきと考えるがどうか。

**答弁** 明治という新しい時代の夜明けに戊辰戦争という大きな戦乱があり、政府軍についた秋田藩は、東北諸藩に四方から攻められ、西南諸藩（大村藩、平戸藩）の応援兵と角館兵合せて30名の戦死者を出しながらも、岩瀬川原で攻撃を食い止めた歴史がある。現在の角館の古い町並みは、こうした尊い命と引き換えに守り抜かれ、今日まで保存されてきた。市として、このよ

うな歴史を後世



■「岩瀬川原戊辰戦争顕彰碑」新政府軍戦死者の墓（岩瀬橋東 400m 土手沿い）

に伝えていくため、関係団体と協議して、過去にも開催した戊辰戦争の企画展などの開催を考えている。戊辰戦争については、中学校の歴史でも扱うことになっている。また、観光で訪れた方々に、より深く時代背景や歴史経過を知っていただくことで、施設や地域との連携が生まれることから、解説員やガイドの育成、DX等を活用したスマホでの情報提供等、受け入れ体制づくりにより、しっかりと取り組む必要がある。

お土産品業界に特化した手厚い支援を

**質問** 宿泊業や飲食業は国、県の支援が数回実施されているが、お土産物店に特化した支援事業はない。市の支援事業はあったが予算規模が小さい。今年度が一番厳しい状況にある、お土産品業界への手厚い支援を求める。

**答弁** 市内景気は新型コロナウイルス感染症の再拡大により、観光宿泊、サービス業で動きが一服している。お土産品業界の特化事業は、緊急経済対策であり、本市に人を呼び込むことで、重層的な経済波及効果と物産振興に資することが期待できる事業と認識している。これまで実施してきた、まるごと土産券やプレミアム商品券などの支援事業を精査し、田沢湖角館観光協会や仙北市商工会、協同組合角館町物産協会等の関係団体と最も効果的な事業の枠組み、ポリシーム、時期等について準備、協議を進めていきたい。

**質問** 樺細工伝承館の物産協会の使用料は、条例で6・18%と定められている。近隣

の準公的施設で、物販だけで使用料を払いながら管理運営している施設は他にはない。これまで、運営が赤字であっても使用料を払い続けているが、昨年度の赤字額は一千万円を突破し、厳しい運営になっていることから、使用料の廃止についての考えをお聞きたい。

**答弁** 伝承館は市が管理運営している施設であり、物産協会に市有財産を貸し付けていることから、一概に他の施設と比較する事はできない。現在の使用料は、施設使用に伴う光熱水費や暖房の燃料代、清掃代、警備費や消防設備等の維持管理費用の一部を負担頂くものである。協同組合角館町物産協会は営利団体であり、営業収益減収に伴う補填に市の補助金を交付することはできない。他の市内企業と同様に融資等を検討頂きたい。使用料については、維持管理費用の一部負担であり無料とするのは困難である。過去2年間は3%に減額しており、今後も経営状況を鑑み、減免等の支援を検討したい。

（門脇晃幸記）